

株主のみなさまへ

第104期
第2四半期報告書

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日



旭ダイヤモンド工業株式会社

証券コード：6140

ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症が、一日も早く収束することを願っております。

ここに当社グループの第104期第2四半期（2022年4月1日～9月30日）における営業概況と通期の見通しについてご報告させていただきます。

株主のみなさまには、今後とも倍日のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長 **片岡 和喜**



当第2四半期の営業概況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症による影響に加え、ウクライナ情勢悪化の長期化に伴う原材料やエネルギー価格の高騰がありました。また、海外においては、世界的なインフレの影響が顕著となり、景気拡大に陰りが見え始めており、中国上海市の新型コロナウイルス感染症対策による都市封鎖に伴う部品不足等が企業の生産活動に大きな影響を与えました。

このような状況のもと、当社グループの取引業界別の経営成績としましては、電子・半導体業界では、旺盛な半導体需要により、半導体用シリコンや化合物半導体の生産が増加したことで、関連工具の売上は前年同期に比べて増加しました。輸送機器業界では、航空機関連における受注が低調だったことに加え、自動車業界における半導体不足の影響による生産低迷で関連工具の売上は前年同期に比べて微減となりました。機械業界では、自動車の減産に伴い軸受の生産は減少しましたが、工作機械の生産が好調に推移したことから、関連工具全体の売上は前年同期に比べて増加しました。石材・建設業界では、老朽化したインフラ対策工事や解体工事等の増加により同業界向け売上は前年同期に比べて増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,656百万円（前年同期比8.1%増）となりました。利益面におきましては、営業利益1,536百万円（前年同期比41.9%増）、経常利益2,129百万円（前年同期比55.7%増）、

親会社株主に帰属する四半期純利益1,549百万円（前年同期比42.3%増）となりました。なお、中間配当金につきましては、前年同期比3円増配の1株につき11円とさせていただきます。

通期の見通し

通期の連結業績予想につきましては、欧州の景気減速等の影響や、工場再編による費用の計上、電力費の上昇等が見込まれるため、売上高及び営業利益は期初予想を下回る見通しですが、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は上回る見込みであることから、11月8日に業績予想の修正を行いました。また、配当予想につきましては、上記の予想を踏まえ、期初予想から1円増配の期末配当11円を予定しております。

第104期の連結業績・配当予想

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

売上高	40,600百万円	(前期比 9.3%増)
営業利益	2,900百万円	(前期比 3.2%増)
経常利益	3,800百万円	(前期比 4.1%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,700百万円	(前期比 17.9%減)
年間配当金	1株当たり22円(中間配当11円含む)	

※ 当報告書に記載の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

旭ダイヤモンドグループのビジネスフィールド

当社グループは、世の中に存在する最も硬い素材であるダイヤモンド及びCBNを使用した工具を製造・販売しており、「切る」、「削る」、「磨く」、「穿つ」などといったものづくりの基本となる工程において、幅広い業界のお客様から高い信頼を得ております。

電子・半導体業界

Electronics and Semiconductor

旺盛な半導体需要により、半導体用シリコンや化合物半導体の生産が増加したことで、関連工具の売上は前年同期と比べて増加し、売上高は75億14百万円（前年同期比13.6%増）となりました。



売上構成比

38.2%

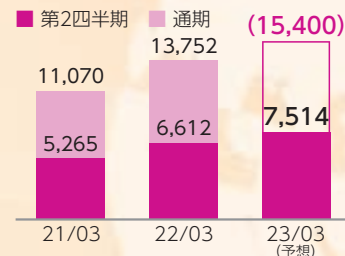


売上高

7,514百万円



売上高（単位：百万円）



輸送機器業界

Transportation

航空機関連における受注が低調だったことに加え、自動車業界における半導体不足等の影響による生産低迷で関連工具の売上は前年同期と比べて微減となり、売上高は40億10百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

売上構成比

20.4%

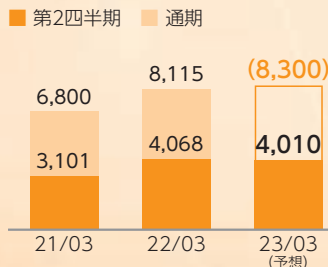


売上高

4,010百万円



売上高（単位：百万円）



機械業界

Machinery

自動車の減産に伴い軸受の生産は減少しましたが、工作機械の生産が好調に推移したことから、関連工具全体の売上は前年同期と比べて増加し、売上高は53億77百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

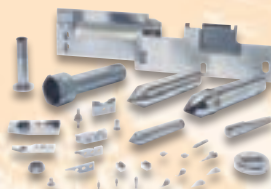


売上構成比

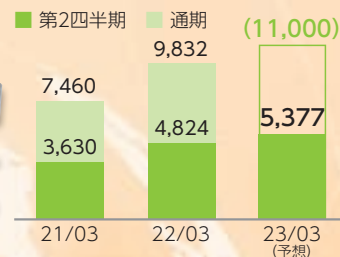
27.4%

売上高

5,377 百万円



売上高（単位：百万円）



石材・建設業界

Stone and Construction

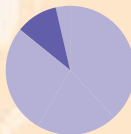
老朽化したインフラ対策工事や解体工事等の増加により関連工具全体の売上は前年同期と比べて増加し、売上高は20億77百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

売上構成比

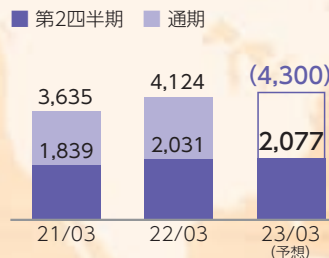
10.6%

売上高

2,077 百万円



売上高（単位：百万円）



その他

Other

大学、研究機関、窯業及び宝飾等上記以外の業種への売上高は6億77百万円（前年同期比5.0%増）となりました。



売上構成比

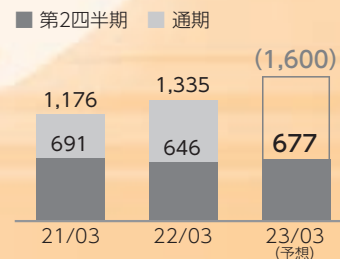
3.4%

売上高

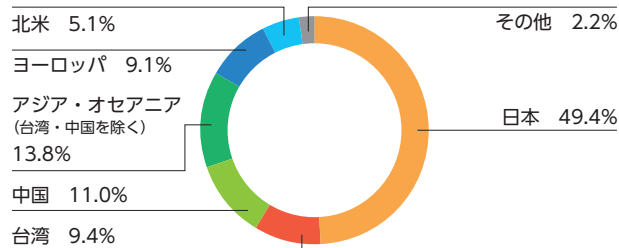
677 百万円



売上高（単位：百万円）



売上構成比



日本

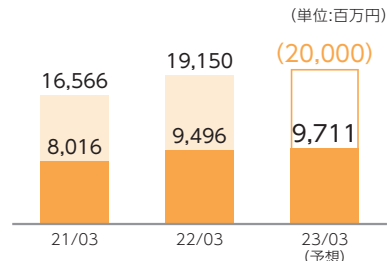
■第2四半期 ■通期

売上高

9,711百万円

売上構成比

49.4%



台湾

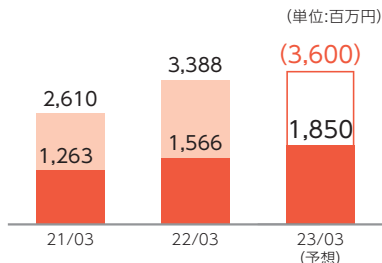
■第2四半期 ■通期

売上高

1,850百万円

売上構成比

9.4%



中国

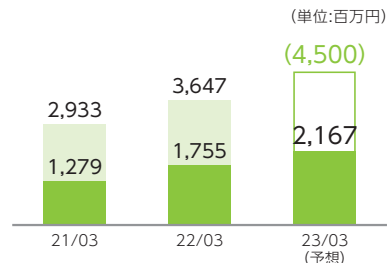
■第2四半期 ■通期

売上高

2,167百万円

売上構成比

11.0%



アジア・オセアニア (台湾・中国を除く)

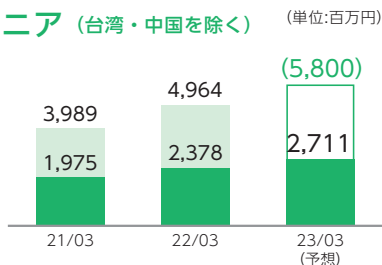
■第2四半期 ■通期

売上高

2,711百万円

売上構成比

13.8%



ヨーロッパ

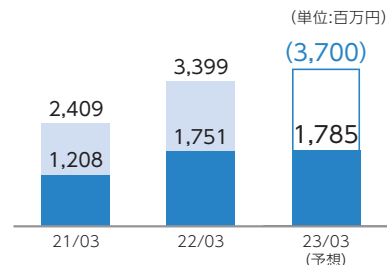
■第2四半期 ■通期

売上高

1,785百万円

売上構成比

9.1%



北米

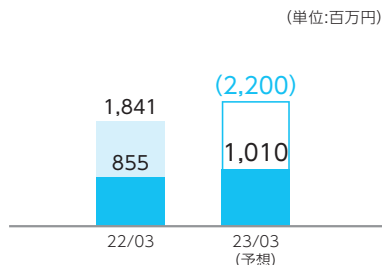
■第2四半期 ■通期

売上高

1,010百万円

売上構成比

5.1%



その他

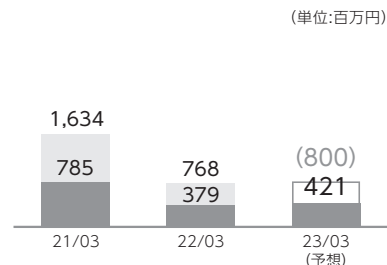
■第2四半期 ■通期

売上高

421百万円

売上構成比

2.2%

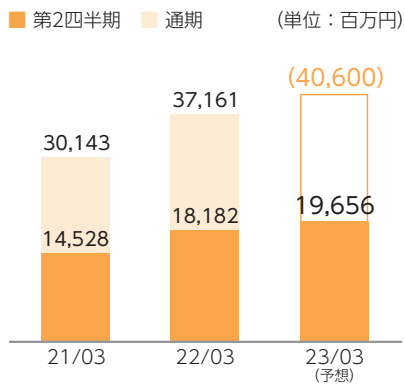


(注) 当第2四半期より独立表示しているため、2021年3月期については記載しておりません。

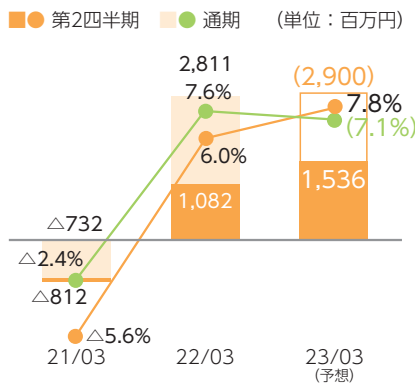
当第2四半期の業績のポイント

売上高	19,656百万円	(前年同期比	8.1%増↑)
経常利益	2,129百万円	(前年同期比	55.7%増↑)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,549百万円	(前年同期比	42.3%増↑)
中間配当金	11円	(前年同期比	3円増↑)

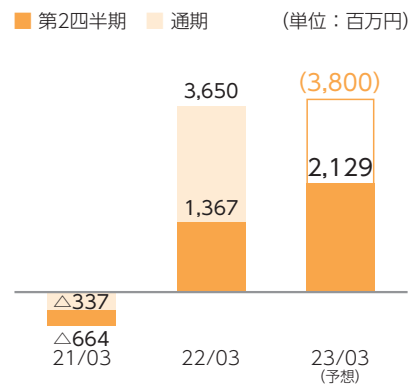
売上高



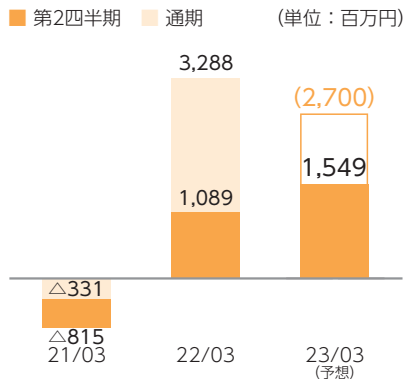
営業利益(△損失)及び売上高営業利益率



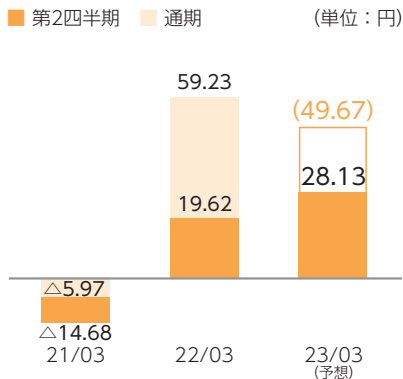
経常利益(△損失)



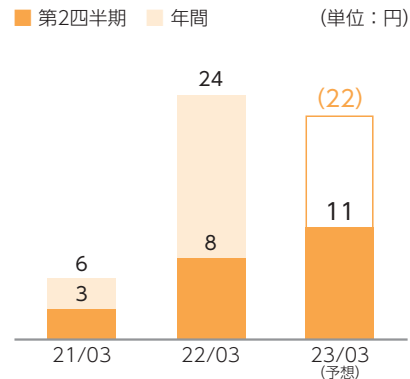
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△純損失)



1株当たり四半期(当期)純利益(△純損失)



1株当たり配当金



TOPICS 1

自己株式の取得を実施しました

当社は、資本効率の向上ならびに株式価値の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、2022年8月に、自己株式の取得を実施いたしました。

なお、2022年11月8日開催の取締役会において、取得した株式すべてを消却することについて決議し、2022年11月22日に消却を完了いたしました。

引き続き、企業価値向上を推進するとともに、継続的な資本政策を実施できるよう、より一層努めてまいります。

取得した株式の総数	1,811,400株
取得価額の総額	1,399,961,000円
消却した株式の総数	1,811,400株

TOPICS 2

JIMTOF 2022に出展しました

2022年11月8日から11月13日の6日間、東京ビッグサイトにおいて開催された「JIMTOF2022（第31回日本国際工作機械見本市）」に出展いたしました。

自動車(EV化)、軸受関連、電子部品、超硬工具関連などの加工現場に貢献できる工具を中心として、

- セラミックスから鉄系まで幅広い用途で圧倒的な切れ味の有気孔メタルホイールである「エアロメタル®evo.」
- 砥粒を均一に分散させる技術で工具寿命の延長と切れ味向上の両立が可能なメタルボンド工具「ソロテル®」などを出展いたしました。



連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間 2022.9.30	前連結会計年度 2022.3.31
資産の部		
流動資産	34,017	33,361
固定資産	40,135	38,880
有形固定資産	25,290	25,434
無形固定資産	220	240
投資その他の資産	14,625	13,205
資産合計	74,153	72,241
負債の部		
流動負債	5,046	5,081
固定負債	6,264	6,290
負債合計	11,311	11,372
純資産の部		
株主資本	55,550	56,263
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	45,824	45,166
自己株式	△ 1,506	△ 134
その他の包括利益累計額	5,535	3,028
その他有価証券評価差額金	3,525	2,541
土地再評価差額金	196	196
為替換算調整勘定	1,816	292
退職給付に係る調整累計額	△ 2	△ 2
非支配株主持分	1,756	1,577
純資産合計	62,841	60,869
負債純資産合計	74,153	72,241

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当第2四半期(累計) 2022.4.1から 2022.9.30まで	前第2四半期(累計) 2021.4.1から 2021.9.30まで
売上高	19,656	18,182
売上原価	14,210	13,355
売上総利益	5,446	4,826
販売費及び一般管理費	3,909	3,744
営業利益	1,536	1,082
営業外収益	598	292
営業外費用	5	7
経常利益	2,129	1,367
特別利益	4	98
税金等調整前四半期純利益	2,133	1,465
法人税等	521	332
四半期純利益	1,612	1,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,549	1,089

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	当第2四半期(累計) 2022.4.1から 2022.9.30まで	前第2四半期(累計) 2021.4.1から 2021.9.30まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,901	2,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 652	168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,490	△ 442
現金及び現金同等物に係る換算差額	582	212
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 658	2,434
現金及び現金同等物の期首残高	15,548	10,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,889	13,084

詳しい決算情報は当社IR情報をご覧ください。 ➔ <https://www.asahidia.co.jp/ir/>

旭ダイヤ IR

株式の状況

発行可能株式総数 190,300,000株
 発行済株式の総数 55,700,000株
 株主数 14,427名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,255	13.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,986	5.54
旭ダイヤモンド社員持株会	1,981	3.68
株式会社三菱UFJ銀行	1,384	2.57
旭ダイヤ共栄持株会	1,323	2.46
ユニオンツール株式会社	1,310	2.43
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,062	1.97
日本生命保険相互会社	1,039	1.93
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	856	1.59
JP MORGAN CHASE BANK 385781	648	1.20

(注)1. 当社は、自己株式1,823,069株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

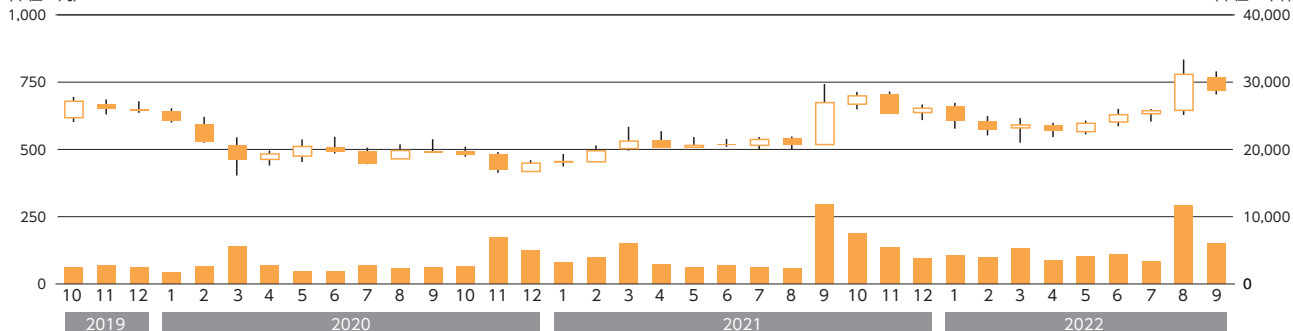
(注)2. 持株比率の計算は、上記自己株式を除いて計算しております。

(注)3. 持株数については、表示単位未満の端数を切り捨て、持株比率については四捨五入して表示しております。

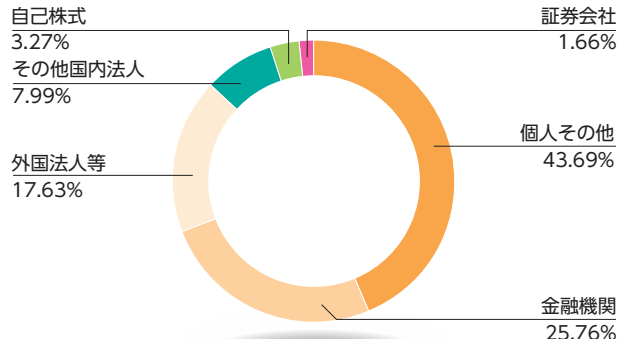
株価・出来高推移

(単位：円)

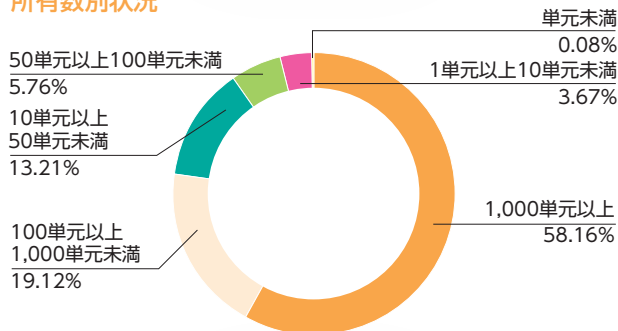
(単位：千株)



所有者別状況



所有数別状況



会社概要

商号 旭ダイヤモンド工業株式会社
 英文社名 Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.
 本社所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号
 設立年月日 1937年10月9日
 資本金 4,102,188,450円
 従業員数 1,004名 (連結 2,057名)

役員

取締役

代表取締役社長	片岡和喜
代表取締役常務	原智彦
常務取締役	藍敏雄
取締役	萩原利昌
取締役	阿部英夫
取締役	松田順一
社外取締役	小山修
社外取締役	永田新一
社外取締役	市川祐子

監査役

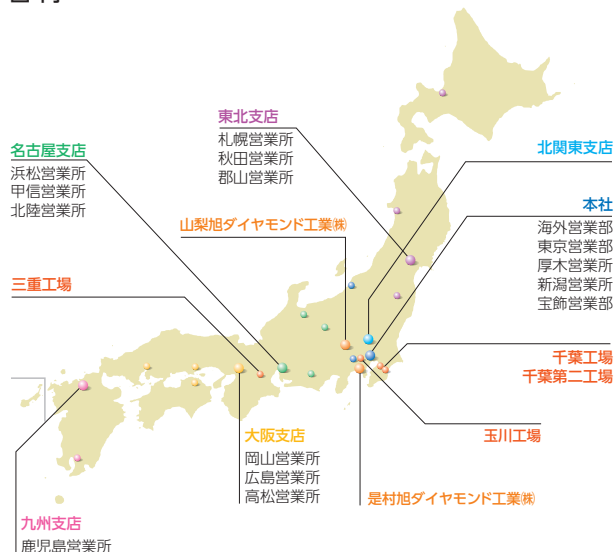
常勤監査役	松崎剛実
監査役	香山盛夫
社外監査役	大高由紀夫
社外監査役	川嶋誠人

執行役員

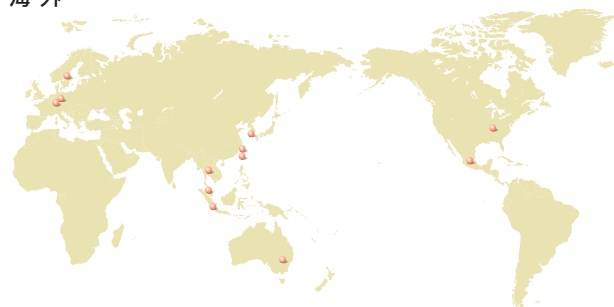
執行役員	望月政司
執行役員	松川英樹
執行役員	小浦雅美
執行役員	佐藤公一
執行役員	澤田穰
執行役員	日下部均
執行役員	川合宏明
執行役員	高橋智樹

ネットワーク

国内



海外



海外グループ会社

上海旭ダイヤモンド工業 (中国)	旭ダイヤモンドオーストラリア (オーストラリア)
台湾旭ダイヤモンド工業 (台湾)	旭ダイヤモンドアメリカ (アメリカ)
新韓ダイヤモンド工業 (韓国)	旭ダイヤモンドメキシコ (メキシコ)
旭ダイヤモンドタイランド (タイ)	旭ダイヤモンドヨーロッパ (フランス)
旭ダイヤモンドインドネシア (インドネシア)	旭ダイヤモンドドイツ (ドイツ)
旭ダイヤモンドマレーシア (マレーシア)	旭ダイヤモンドスカンジナビア (スウェーデン)

お知らせ

第104期中間配当金につきましては、「配当金領収証」を同封しておりますので、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお早めにお受け取りください。
また、配当金の口座振込をご指定の方には「配当金計算書」及び「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法について」を同封しておりますのでご確認ください。

■ 中間配当金のお支払いについて

中間配当金 1株につき11円

取扱期間 2022年12月1日(木)から
2023年 1月4日(水)まで

株主メモ

決算と配当金のお支払

毎年3月31日を決算期とし、年1回の決算を行います。配当金は毎決算期現在(中間配当をする場合は毎年9月30日現在)の最終の株主名簿に記録された株主または登録質権者に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。

定時株主総会

毎年6月下旬に開催いたします。

定時株主総会の基準日

毎年3月31日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先)

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

単元株式数

100株

公告方法

電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(https://www.asahidia.co.jp/) 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、ジュエリーの情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



URL : <https://www.asahidia.co.jp/>



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

